

# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



早朝の除雪車ひびく誇らしく

西岡町 渋谷 みさ子

わ  
私の膝に初のひまぢ冬ぬぐし

南校町 宮腰 幸子

善哉の椀に春日はしけたる

仲町 玉野 研一

小なき手とつばらな瞳桃の花

西原町 児玉 久美子

さしあぐる掌も共に老い乱れ雪

緑町 池田 良子

きりたんぼ炭火のほりり身のほりり

旭町 宝澤 房子

母恋つる厨にかほる卵酒

西町 金澤 頼子

流水のよばを聞きて猫柳

元町 印牧 安子

針供養昭和の里や遠くなる

緑町 齋藤 嘉子

厨に立ち作る幸せ春野菜

仲町 坂部 和子

春寒し吐息つつすら窓硝子

元町 西崎 弘子

虎落笛あの人一人遠い空

屯田町 古屋 克江

春に病む友は四角い空見るか

仲町 梅基 文子

如月や開いたままなる文庫本

旭町 大河 博子

きりぎの雑事忘るる孫の声

西町 岸波 君江

天皇のこらえる涙二月尽

西町 杉浦 とし枝

節分の食品口に鬼も泣く

藤本町 鈴木 ゆき子

泣き笑い思考は雪に埋れけり

東町 高草木 喜代子

如月の種子の注文期限来ぬ

西岡町 高瀬 久美子

音もなく回覧板にむしはな六花

東町 高橋 世津子

二月のホワイトアウト煮豆する

西町 文梨 清子

子等よりの東京土産春ショール

仲町 芳賀 星子